

# 地域課題解決プログラム

(平成31年度)

## 1. 趣旨

近年、大学の地域社会に対する貢献が強く求められています。岩手大学においても、教育、研究に加え、地域貢献を3本目の大きな柱として、積極的に取り組んでいます。

岩手大学は共同研究や技術相談を通して、県内の企業の抱える諸課題の解決に取り組んできました。平成18年度より、学生の積極的な地域社会への参画を促すために、地域社会の抱える様々な課題を、学生の研究テーマとして募集してきました。自治体や民間企業の抱える様々な課題を、指導教員の下、斬新な学生の視点から研究することにより、新たな展開が期待されます。

応募頂いた課題は、担当する学生を指導する学内の研究者を募集し、原則としては、学生の卒業論文研究や修士論文研究などとして進めることを予定しています。応募者に金銭的な負担は一切ありませんので、お気軽にご相談下さい。

研究の成果は、3月に成果発表会として公表させていただきます。

なお、本プログラムの成果は、学生の研究および学習の枠内にとどまるものであり、実利を求めるものではありません。全ての課題に対して対応出来るわけではありません。更に研究の成果により、企業が収益を上げることが目的とする課題や、成果を公表したくない課題などについては、原則として共同研究として大学にお申し込みください。また、複数年にわたり同一教員へ継続した課題を依頼する案件についても、ぜひ共同研究での取組をご検討ください。

## 2. 要項

- |                  |   |
|------------------|---|
| (1) 募集研究分野       | 分野を問わず  |
| (2) 募集期間         | 平成31年2月28日(木)まで   |
| (3) 募集対象         | 県内自治体、県内民間企業、NPO等   |
| (4) 応募方法         | 応募様式別紙(1)に記載の上、下記連絡先に、郵送、FAX、e-mailいずれかの方法で申し込んでください。   |
| (5) スケジュール       | 1) 研究テーマ募集 (1月22日～2月28日)<br>2) 学内実施体制の公募 (3月1日～4月上旬)<br>3) 応募者と学生(教員)のマッチング (3月～4月上旬)<br>4) 審査 (4月下旬)<br>5) 研究開始(予定) (5月1日～)                            |
| (6) 研究費          | 岩手大学が負担致します。(1件20万円×30件程度)  |
| (7) 研究期間         | 2019年5月1日～2020年2月29日(原則1年)<br>※2019年度予算の状況に応じて、採択件数が少なくなる場合があります。   |
| (8) 知的財産の取り扱い    | 大学が経費を全額負担するため、当該研究テーマより知的財産が発生した場合は、原則的に全て岩手大学に帰属するものとなります。ただし詳細については、ご相談させていただきます。  |
| (9) 研究成果の取り扱い    | 研究成果について、研究期間終了後に報告書を提出します。<br>また、研究成果を公表する報告会を実施致します。  |
| (10) 申し込み/問い合わせ先 | 〒020-8551 岩手県盛岡市上田4-3-5 地域連携推進センター棟内<br>岩手大学三陸復興・地域創生推進機構 担当 今井潤、小川薫<br>Tel. 019-621-6491 FAX 019-621-6493<br>e-mail: ccrd-ad@iwate-u.ac.jp<br>用紙ダウンロード |

<http://www.ccrd.iwate-u.ac.jp/wp-content/uploads/2019/01/regional2019.pdf>

## 地域課題解決プログラムテーマ申請書

希望テーマ名			
テーマ要旨			
希望教員	なし      あり	教員名	
会社名等			
担当者部署			
(フリガナ) 担当者氏名			
連絡先住所	〒		
連絡先電話番号		連絡先 FAX	
e-mail			
大学との連携の 経験の有無(有にチェック)	共同研究、	受託研究、	奨学寄付金、      技術相談
その他 相談案件、ご質問な どご自由にお書き下 さい。			

## 採択テーマ一覧

### 平成 19 年度実施

- 大学生など若者の新聞への期待
- 学校統合の課題について
- 小学校統合後における地域のあり方
  - －「地域総合型クラブ(仮称)」による地域の活性化を目指して－
- 雫石銀河ステーションにおける利用者の立場に立った質の高いサービス向上の研究
- 生涯学習推進計画策定の課題
- ツキノワグマの誘引につながるリンゴ摘果物・廃棄果実等（不要物）にかかる有効活用法の検討・研究開発
- 「うに染め」製品に関する染色堅牢度試験
- 歴史遺産の 3 次元計測技術開発
- 「甲子柿（地域産品）」の魅力を探る
- 麹菌を用いた微生物変換法による雑穀の高機能化
- 岩手県内の老人クラブ活動の活性化策に関する調査研究

### 平成 20 年度実施

- 炭粉末成形技術の開発と地場産業の育成について
- 柔道に関連付けた特色ある運動プログラムづくり
- 八幡平市の生涯学習振興のための研究
  - －住民の学習課題及び政策課題の把握－
- 二次元（QR）コードを活用した観光等情報発信システムの開発  
【浄土ヶ浜まるごとタイム・ナビゲーション】  
～来て観て聴いて・感じる・HAMAるナビ～
- バイオマス由来エネルギー変換デバイス用電極作製事業
- 「多重債務問題」のない安心・安全社会づくりのために、今、必要なこと
- 間伐材の活用法及び間伐材を利用した木製品の開発
- 高標高山岳地を流域に持つ道路管理のための土石流発生危険度の検討  
～岩手山・御神坂沢における土石流発生基準の検討～
- ゴミ減量対策及びリサイクル率向上対策について
- 地域材販売拡大事業の確立に向けて

### 平成 21 年度実施

- 岩手町における新たなバス交通システムの構築に関する提言
- ホースセラピーが適応障害に与える効果と活用法
- ごみ減量対策及びリサイクル率向上対策について
- 「久慈」ブランドの構築とデザインアイデンティティの研究開発
- 野外博物館の新しい展示手法・実験的総合芸術公開手法の研究
- 大通地区へ、若者の引き寄せ、回遊してもらうための手法と情報発信
- 債務整理後の生活再建支援のあり方
  - ～行政の果たすべき役割と民間セクターとの協働～
- 遊休農地を利用したレンタル菜園の可能性について
  - ～ 太田地区の地域活性化に向けて ～
- 自立し個性ある「地域」を目指す
  - ～「結い」と「資源」を活用し、社会とつなげていく～
- 久慈地域の南部アカマツ材の戦略的販売について
- 盛岡手づくり村に若者を集客するための方策の研究

## 平成 22 年度実施

- 2008 年岩手・宮城内陸地震による二次災害の危険度評価
- さんさ踊りをメインとした盛岡の観光振興
- “おもてなし” の町を徹底追求！  
デザイン・アイデンティティによる「三陸・宮古」のブランドづくりに関する研究
- くちない「レトロなまち」デザインプロジェクト
- 宮澤賢治の思想を取り入れた猪去りんごのブランド化のためのコンセプト生成と商品化に向けたデザイン学研究
- 矢巾町社会教育計画の策定について
- 事業系のごみの実態調査及びごみ減量化対策について
- 館山整備と長岡探訪ツアーの実践  
～「昔の資源」と「今の資源」を活用し、地域再生を目指す～
- 雫石町花と緑のまちづくり事業における花に関する「ホームページ」や「見どころ マップ」等の製作補助
- 野生動物による農作物の被害対策（熊への対応について）
- 人口減少、高齢化の進展による生活環境の変化シミュレーション  
ー「住民参加型まちづくりを育む契機として」ー
- 広瀬川せせらぎ緑道・諏訪町アーケード街なか回遊プロジェクト
- 「世田米の倉並」を活用した中心市街地活性化方策
- 久慈市主要産業の縫製業の活性化手法の検討
- CG(ミックスド・リアリティー)による史跡志波城跡における 1200 年前の景観復元と、二次元コードによるインタラクティブ・コンテンツの開発

## 平成 23 年度実施

- 農業における革新的塩害対策の研究
- 農業法人における環境・品質マネジメントに関する研究
- 盛岡さんさ踊りのさらなる発展策
- 地域コミュニティに属さない若年層への環境意識の向上啓発
- 山岸のカキツバタ群落の陸地化改善
- 猪去りんごにおける顧客と生産者との信頼関係構築に向けたフェアトレーディングデザインの研究
- 数量限定販売焼酎のラベルデザインについて
- 野生鳥獣との共存について  
～マイクロ波センサを用いた野生鳥獣侵入検出システム～
- 日本わさびの機能性を活用した商品開発のための研究
- 住民主体のまちづくりを育む契機として  
ーQOLの向上を目指したまちづくりー
- 既存観光資源を活用した若年層へのアプローチ  
～有効な PR 方法と新たな観光メニューの開発～
- 八幡平市（中山間地域）地域の特性を生かした活性化方策を探る  
～住み続けるために～
- 雫石町における観光サインのデザイン研究と観光ルートの魅力向上研究  
～ますますおもしろい！観光ルート「長山街道」をモデルとして～
- 奥州市前沢区生母内に散在する「巨石」を活かした地域づくり
- シイタケ廃菌床ブロックの堆肥化について

## 平成 24 年度

- 岩手大学新ダイズ生産実証にかかる研究調査
- デジタルアーカイブ ～藤沢町商店街の今昔物語～
- 松川温泉の活性化策に関する調査研究
- 雫石町における観光サインの実用化と新しいロゴマークの開発による魅力向上研究
- 盛岡の老舗「巴染工」(紺屋町)のブランディングと新旧技術の人材育成
- 八幡平産プロポリスの抗糖尿病活性の評価
- 手作業用工具の使いやすさが作業に与える影響の調査
- 若年層をターゲットとした魅力ある旅行プランの作成
- 中山間地域住民がつくる地域計画の作成にかかる研究
- 市民とねことが共生する地域社会について
- 郷土料理の発掘等による地産地消の推進及び地域活性化
- 買物利便性向上について
- 盛岡市における生ごみの処理状況の実態調査
- 果樹園における鳥害低減を目的としたマイクロ波センサ
- 根浜海岸とトライアスロンエリアの共存整備
- 記念フォーラム『都南の魅力、どう活かす』の協働実施
- 地域コミュニティにおける中小企業家組織の意義・役割の再構築と、地域企業間の協業体制構築の可能性に関する研究

## 平成 25 年度

- 盛岡市及びその近郊におけるカラスの餌場調査とその対策について
- 自家処理による厨芥類、剪定枝の資源化について
- 震災復興過程における定住・移住推進方策を探る
- 復興応援 ～さば寿司プロジェクト～
- 地域財を活用した地区ビジョンの創造「赤沢まるごと博物館プロジェクト」
- 八幡平市来訪者の観光行動と意識の把握による観光施策の事業評価
- 釜石市における被災地観光の実態把握とグリーンツーリズムとの組み合わせによる新しい観光の可能性の検討
- 高松の池の水環境と水質改善に向けた調査研究
- 河南地区における商店街活動の方向性と商店街集客力向上の研究
- もし大学生が図書館長だったら ～若者がつくる未来の図書館～
- 雫石町街道資源の発掘とアーカイブの作成
- 地域コミュニティにおける人と猫との共生について
- 中学生を対象としたニート・ひきこもり予防教育プログラムの開発
- 人と犬のシェアフードの開発
- 生産者の意向に沿った「こはく姫」のブランド戦略策定とパッケージデザイン等を通じた地域活性化の検討
- 七時雨及び鹿角街道の魅力向上を目指したデザイン研究
- 漆塗り製品への関心度調査と応用事例
- 伝統野菜等のブランド化による6次産業化の展開方向
- 市民協働で行う地域の買い物利便性向上を目的とした対策事業の構築に関する研究
- 「もりおか福祉ブランド」のPR支援企画
- フェノール樹脂系接着剤増量剤(希釈剤)としての未利用ポリフェノールの活用研究
- 八幡平市における既存運動施設の有効活用策の検討

## 平成 26 年度

- 甲子柿の粉末化及び商品開発に向けた調査研究
- 岩手県産雑穀（あわ、きび）を活用した黄金商品開発プロジェクト
- 大船渡市における観光サインの効果的な整備について
- 人口減少社会における地域コミュニティ存続に向けた将来人口推計の研究
- 田老地区小河川のウナギ復活作戦
- 温泉観光地「花巻」の坂の魅力を活かす研究
- ゆかたの着用による盛岡のイメージアップと中心市街地の活性化について
- 地域に活かそうアートの力 ～大学生が「まちなかギャラリー」をプロデュースするなら～
- 盛農版発酵飼料を活用した岩手大型名古屋のブランド化を目指して
- シマミズ糞土とミミズの特性解明
- 大槌で働きたい ～地域の若者が抱く魅力的な仕事・働く場の条件を探る～
- 3Dプロファイラーによる景勝地、トレイル等の維持管理方法の検討
- 採卵鶏種卵の長期貯卵環境の検討、並びに未利用若齢期母鶏生産種卵の活用を可能とする貯卵環境の検討（生産した遺伝資源を有効に使用するために）
- 被災地ものづくり企業の新規事業創出におけるデザイン発想プロセスの導入実証
- 胆沢扇状地の散居集落におけるエグネの保全と課題
- 若者目線によるスキー客獲得策の検討
- 岩手のスキー場を PR するためのデジタルコンテンツ企画の検証  
（岩手のスキー場を事例とするスキー・スノーボードをテーマとしたデジタルコンテンツによるムーブメント創造の可能性の検証）
- 八幡平市における婚活事情を考える
- 盛岡における L R T の導入可能性について
- 朝の連続テレビ小説『あまちゃん』による地域の活性化の検証と課題
- 「ところ（野老）」プロジェクト 「挑戦」 夢をかたちに
- 雫石町街道資源の発掘（橋場街道の資源発掘および観光活用）
- 中学生を対象としたニート・ひきこもり予防教育プログラムの開発

## 平成 27 年

- 3Dプリンターによる景勝地（ジオポイント）、三王岩の作成とその活用
- 宮古市田老のジオポイント、トレイルコースの三王園地付近の案内マップと語り部ガイドのマニュアル作成
- 地方における学校統廃合に関する今後の方向性について
- マッシュルーム廃培地の効率的な堆肥化とその利用について
- 電界印加による酵素活性制御した新たな日本酒の開発
- 八幡平牛のブランドイメージを伝えられるデジタルコンテンツの作成について
- アートを感じるまちへのアプローチ～「まちなかギャラリー」魅力向上研究～
- 人口減少対策に向けた市民と行政の協働プロセスの構築に関する調査研究
- 県産材合板製造工程から発生するタール状物質の有効利用
- 史跡徳丹城跡整備事業における AR 技術活用の検討
- 大槌町浪板地区の復興過程における観光地としての再生に向けた方策の検討
- 大槌町金沢地区における人口減少対策としての拡大コミュニティの構築および連携方法の検討
- 発達障がいの子の学習意欲と学力を高める方法の研究
- 東日本大震災津波からの復興に関する県民意識の調査研究
- フィギュアスケートにおける足裏の圧力分布計測装置の製作
- 釜石市中心市街地における飲食店街再建プロジェクト～釜石呑ん兵衛横丁の復活と新たな

な飲食店街の再建～

- 釜石市中心市街地における飲食店街再建プロジェクト～釜石呑ん兵衛横丁の復活と新たな飲食店街の再建～
- 六次産業化と萌えおこしの融合による地域活性化に関する研究
- 農産物直売所の情報発信力向上に関する研究
- 県指定天然記念物「山岸のカキツバタ群落」の環境保全
- 流出した若者を地元呼び戻し地元産業に就職・定着を図る雇用及び、都市圏からの新しい人口流動モデル創出の研究
- 尾崎半島トレッキングコースの現状調査と今後の整備計画・管理方法と観光資源化に対する提言

平成 28 年度

- 「安比塗」を使用した海外向け新商品のデザインについて ～海外展開を目指すための第1歩として～
- 酒母としての「釜石はまゆり酵母」の可能性を探る ～釜石はまゆり酵母の多様な利活用を目指して～
- 文化財施設の活用方法拡大を目的としたデジタルコンテンツの実装
- 発達障がいの子供たち個々の段階に対応した課題設定の研究
- 馬っこパーク・いわてで使用される馬のストレスの状況調査とストレスからの解放の提案
- 久慈港の認知度向上に向けた市民へのアプローチ手法の検討～久慈港イメージアッププロジェクト
- スポーツツーリズムの推進について～「スポーツと観光」による地域の新たな価値を創出する取り組み～
- 耐熱性と機械特性に優れた炭素繊維強化プラスチックの開発
- 「魚のまち」釜石におけるまちづくりについて
- 小学生のためのロボット教材開発と指導方法の検討
- 一戸町における魅力ある観光資源の活用と誘客の促進について
- 「岩手独自の新スポーツ」をテーマとするマンガやイラスト等、ヴィジュアル・コンテンツを活用した地域活性化
- 遠野市におけるデジタルコンテンツを活用した物語性ある観光情報拡散の研究
- カモシパラボックスの感染対策について
- 乳幼児期から青年期における発達障がい児の余暇活動とその家族同士の交流
- 尾崎半島における地域の魅力の掘り起しとツアーガイドプログラムの開発に関する研究
- 携帯端末等を活用した震災記憶伝承のコンテンツデザイン
- デザインの力を通じた観光施設の魅力向上 樺の里大船渡における「世界の椿館・碁石」の空間デザイン向上
- 浜の資源カタログ ～釜石市尾崎白浜地区における潜在地域資源の発掘と視覚化、ブラッシュアップに向けて～
- 沿岸北部における気候特性を生かした園芸品目および栽培法の提案 ー久慈地域の気象およびハウス内環境のモニタリングー
- 経営学の立場からみた水産業におけるブランディングおよびマーケティングの検証および水産業の指標づくり
- 震災以降の沿岸地域流域の森・川・海における現状に即した「新・流域基本計画（宮古・下閉伊地域流域ビジョン）」の基本的方向性の提案
- 宮古市田老地区 体験型学習の構築に向けて
- 針葉樹樹皮成分の有効活用
- 若者参加による地域の自治会活動の活性化に関する調査

## 平成 29 年度

- ラグビーを活用したスポーツツーリズムの推進について（ラグビーを通じた観光まちづくり）
- 珍品水産物活用で、個性あふれる肴場放浪によるまちづくり
- 釜石地域における養殖漁業の展望と担い手確保の課題
- 浜の資源を活用した釜石市唐丹地域まちづくりプラン ～若者目線で地域を探る～
- 「久慈港」を起点とする地域の活性化にむけた実践的研究 ～久慈港イメージアッププロジェクト～
- 多世代コミュニティの在り方とその構築手法について
- 世界遺産平泉 PR キャラクター「ケロ平」が地域住民に愛され、活用されるための方策についての研究
- 県産材を用いた児童向け玩具のデザイン研究開発
- 外国人観光客に対する「わかりやすい」観光情報の発信方法に関する基礎デザイン
- 釜石市民ホールにおけるロゴデザインの検討 ～大学生と高校生が一丸となって～
- 気仙大工技術を用いた木工デザイン・制作への応用研究
- 公共施設アセットマネジメントの推進に向けた各種コンテンツによる市民訴求の手法研究
- 萌えキャラによる地方創生への貢献可能性
- 宮古市田老地区 河川体験型学習の継続体制構築と、台風 10 号による河川環境の変化について
- AT(アシスティブテクノロジー)による障害のある人の QOL 向上を目指した支援活動
- 中学校における一人一人の教育的ニーズに応じた学習支援はどうあればよいか～学校の実情に即した学習指導の実施体制及び実施内容のプログラム開発～
- 文化財施設の活用方法拡大を目的としたデジタルコンテンツの実装
- 住民自治による自主防災の組織化に関する提案
- 料理教室を通じた釜石産水産物消費拡大のための新メニュー開発と魚食普及
- 「釜石はまゆり酵母」の酒母利用実現に向けた研究開発
- 未利用資源である遠野産畑わさびの葉の有効利用に関する基礎的検討
- 久慈市における移住促進施策の効果的な展開について
- 雫石町 4 地区別地域づくり計画実践活動と地域ごとの行事・会議・組織の棚卸しに関する調査研究
- 「チャグチャグ馬コ」に出馬するチャグ馬のストレス調査と、ストレス軽減の提案
- ジビエ（野生鳥獣肉）の利活用に伴う地域振興の可能性について
- 三陸産イサダを食べよう！ ～食材としての可能性への取り組み～
- 八幡平温泉郷来訪者の現状分析と今後の観光振興策の提案
- 雫石町の観光客実態把握調査と今後の振興方向性検討
- 尾崎半島における地域の魅力の掘り起こしとツアーガイドプログラムの開発に関する研究
- 箱崎半島のトレイルコースにおけるガイドシステム構築およびガイドプログラム開発に関する提言
- 外国人観光客に対する「わかりやすい」観光情報の発信方法に関する検討

## 平成 30 年度

- 奥州市内における記録史料の調査および仮目録の作成
- 釜石地域における漁業担い手の独立経営モデルの作成
- 個性あふれる「地「魚」のまち」発信  
～地元水産業者・地域住民の有機的連携による情報発信を目指して～
- ふるさと納税の魅力有る返礼品についての研究
- 人生100年時代における男女共同参画のありかたについて



～男性の育児参画を中心に働き方・暮らし方を見直す～

- 北上のイメージを公共交通へのデザイン表現に展開する研究
- 東京五輪に向けた紫波町発の競技用自転車トレーニングシステムのデザイン
- 市民に親しまれる市産材ベンチのデザイン開発
- いわてメイカームブント推進プロジェクト
  - ～潜在的なメイカー人材に訴求するコンテツとその伝達方法ついて～
- 久慈市山形町のUMA「ガタゴン」を通じた地域おこしのためのデザイン案の検討
- 発達障がい児の余暇支援活動に関する実践研究
  - ～ありのままの自分が認められ、安心できる居場所づくり～
- AT(アシスティブテクノロジー)による障害のある人のQOL向上を目指した支援活動
- 中学校通常学級に在籍する特別な支援を必要とする生徒の学習支援に対する学習支援に関する実践的研究
  - ～大学との連携によるアセスメントの実施・個別の指導計画作成・指導内容の開発～
- 氷上のスポーツ(カーリング・アイススケート・アイスホッケー)の生涯スポーツへの可能性と共生社会に果たす役割
- 小学生におけるスキー学習の系統的プログラムの開発
- 次期学習指導要領の実施に備えるためのICT教育推進体制の検討
- 米内浄水場における緩速ろ過法による浄水処理方法の研究
  - ～緩速ろ過池清掃ロボットの可能性を探る～
- 北上市立博物館常設展示室における子どもが楽しめる体験的展示手法の研究
- 志波城古代公園の活性化のための3Dモデル制作
- 史跡徳丹城の活用のためのARコンテンツの実装
- 盛岡市における木質バイオマスエネルギーの地域循環型システムの構築に関する研究
- 釜石はまゆり酵母の高機能化～更なる利活用のための育種～
- 未利用資源である遠野産畑わさびの葉の有効利用に関する基礎的検討
- チャグチャグ馬コの馬ふん堆肥による滝沢スイカ栽培モデルの提案
- 沿岸ふれあい訪問・チャグチャグ馬コに使用される馬のストレス調査と、その結果を用いた使役方法の提言
- 地方都市における子育て支援施設運営の実態と課題
- 気仙大工技術継承に向けた方策
- 海塩中のミネラルが塩漬された日本短角種牛肉の理化学特性およびテクスチャー特性に及ぼす影響
- やさしい日本語を活用した多文化コミュニティの構築手法について